

(一社) 農業食料工学会シンポジウム「第 28 回テクノフェスタ」開催要領

1. 主催：(一社) 農業食料工学会
2. 協賛：(国研) 農研機構 農業機械研究部門
3. 開催日時：2023 年 11 月 10 日 (金) 11:00~17:40 受付 10:00~
4. 開催場所：農研機構 農業機械研究部門 (さいたま市北区日進町 1-40-2) ※対面開催
5. テーマ：脱炭素社会における農業・食料産業を形作る技術
6. プログラム：
 - I. 開会挨拶 (11:00~11:15)
 - II. 基調講演 (11:15~12:15)
 - モビリティとエネルギーの連携 Honda eMaaS ~農業への応用の可能性~
本田技研工業株式会社 コーポレート戦略本部 コーポレート事業開発統括部
株式会社本田技術研究所 先進 PU エネルギー研究所
エグゼクティブチーフエンジニア 岩田和之様
 - III. 開発賞受賞講演 (13:30~15:00)
 - (1) 開発特別賞
「にんじん収穫機 クレーン仕様の開発」
井関農機株式会社 後田 達哉様
 - (2) 開発賞
「玉ねぎ調製機の開発」
株式会社クボタ 大門 龍太郎様
「AI 選果システム」
シブヤ精機株式会社 山本 一哉様
「小型フルクローラトラクタの開発」
ヤンマーアグリ株式会社 池田 直哉様
 - IV. 分科会 (15:15~17:25)
 - [第一部] 15:15~16:15
 - 1-1. 自動運転分科会 (IT メカトロニクス部会)
「果樹園での自律走行に学ぶ先進技術」
 - (1) 急傾斜地小型ロボット農業システムの開発
愛媛大学 上加 裕子様
 - (2) 果樹農業を支援する自動走行車両
ヤマハ発動機株式会社 石山 健二様
 - (3) NSW 自律走行ロボット開発の取り組み (農業への活用展開)
NSW 株式会社 大門 佑紀様
 - 1-2. 生物資源分科会 (生物資源部会)
「脱炭素社会に向けた生物資源循環技術への期待」
 - (1) 信託銀行の資源循環の取組と研究機関への期待
三井住友信託銀行 田嶋 裕一郎様
 - (2) 総合討論

1-3. 国際交流分科会（国際交流委員会）

「フィリピンにおける農業・農産機械と

バングラデシュにおける持続可能な再生可能エネルギー資源開発の現状」

(1) フィリピンの農業の概要について

フィリピン共和国大使館 アレリ マグヒラン様

(2) バングラデシュにおける持続可能な再生可能エネルギー資源

持続可能な開発目標（SDGs）達成に向けた現状、課題、政策的意義

九州大学 アル マムン ムハマド ラシド様

[第二部] 16:25~17:25

2-1. 農業機械分科会（農業機械部会）

「脱炭素社会に資する農業機械の技術開発」

(1) 農機用ベルトの紹介

バンドー化学株式会社 中平 義人様

(2) 乗用田植機 PJ10 の開発

井関農機株式会社 藤代 孝行様

(3) ロボットトラクタの作業効率改善効果の実証調査

鹿児島県農業開発総合センター 溜池 雄志様

2-2. フードチェーン分科会（食料・食品工学部会）

「食品の安全性と品質の向上を支える技術開発」

(1) 高圧処理を用いた低温殺菌技術

愛媛大学 森松 和也様

(2) スライサーへのオゾン水かけ流し製法によるカット野菜の品質保持

ライオンハイジーン株式会社 水野 義隆様

(3) 過酢酸を用いた食品および環境微生物制御方法の検討

株式会社 FCS 山下 賢治様

V. 閉会挨拶（17:35~17:40）

7. 参加費

学会員:4,000円 非学会員:5,000円

海外参加者・学生参加者：会員種別等を問わず0円

尚、一般非会員は本学会に体験入会していただくことで、正会員と同額の参加費+体験入会費1,000円で本イベントにご参加いただけます。体験入会特典として農業食料工学会誌2冊が進呈されます。

8. その他

- ・申し込みは、専用ホームページより実施（10月1日開設予定）
- ・当日は受付の後、各発表会場にご参集ください。（受付場所） 散布実験棟3F 大会議室前
- ・昼食のご用意はありませんので、各自でご準備ください。
- ・情報交換会はございません。